

訪問・病院看護師向け 臨床研究・治験研修会

いま話題の DCTを （分散型臨床試験） ご存じ ですか

～治験における看護師の役割～

開催方法

オンライン開催 ZOOM^{参加}

※詳細は受講者の方へ後ほどお知らせいたします。

！参加無料

2025年

日時

2月14日^金

14:00～
17:00

申込締切 2025年1月31日^金

対象者

- 訪問看護師 ●病院看護師
- その他の医療関係者
- 臨床研究・治験に携わる者

管理職の方も
ぜひご参加
ください。

申し込み方法

詳細・申し込み方法は、
ホームページからご確認ください。

<https://forms.gle/gz4jHYKFMD7Y3UeNA>



問い合わせ先

岡山大学病院研究推進課

TEL 086-235-6503

Eメール mae6605@adm.okayama-u.ac.jp

令和6年度 厚生労働省 臨床研究総合促進事業 臨床研究・治験従事者等に対する研修プログラム

主催：



京都大学
医学部附属病院



大阪大学
医学部附属病院



神戸大学
医学部附属病院



岡山大学病院



九州大学病院

訪問&病院看護師向け 臨床研究・治験研修会

従来、臨床研究・治験は、病院をはじめとする医療機関内で実施されてきました。

しかし、高齢者や難病などに罹患された患者にとって、通院は大きな負担であり、近年は来院困難患者に優しい環境づくりが期待されています。

DCT（分散型臨床試験）と言われる方法がグローバルを中心に導入されており、わが国でも拡大をみせていることを、皆さんはご存じでしょうか。

DCTとは、投薬・診察・検査・評価・観察などを医療機関で来院することなく行う方法です。オンライン診療やウェアラブルデバイス、ITツールなどを活用することで患者の自宅や介護施設等にて治験に参加できるようになります。

この新しい仕組みでは、患者の日常を知り医療を提供する看護職（訪問看護師・病院看護師）の役割は大きく、臨床研究・治験の理解を深める教育は不可欠といえます。

DCTが普及することで、病院が遠方にあることや通院のための手段がないことで臨床研究・治験参加を諦めていた患者も、治験参加の可能性が生まれます。身近な看護職が臨床研究・治験についての知識があることで患者は心理的にもどれほど安心なことでしょうか。また、ある日突然にDCT導入が始まった際に、医療者として不安なく取り組むためには知識を持っていることが重要です。

ぜひ、この研修会を新たな医療を創る担い手としてご活用いただければと思います。

プログラム

臨床薬理学の基礎

岡山大学学術研究院医歯薬学域（薬学系） 臨床基礎統合薬学分野
山本 和宏 先生

プロトコル・治験薬概要書の読み方

国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門 研究実施管理部
木村 雪絵 先生

臨床研究の歴史／倫理的ガイドライン制定の経緯

大阪大学医学部附属病院 臨床研究センター
山本 洋一 先生

研究協力者として必要な倫理的態度

医療法人社団知正会東京センタークリニック 臨床研究グループ
近藤 奈津子 先生

治験・臨床研究に関わる人々の役割、治験薬開発のプロセスに関わる各施設の役割と責任を理解できる ～企業治験と医師主導治験の特徴～

国立がん研究センター中央病院 国際開発部門／臨床研究支援部門
中村 健一 先生

治験薬管理の実際

京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 臨床研究推進部
老本 名津子 先生

モニタリング、監査、規制当局による査察の理解

九州大学病院 ARO次世代医療センター
田中 千春 先生

有害事象発生時の対応

慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター
松嶋 由紀子 先生

臨床試験の実施に関わる費用と制度

長崎大学病院 臨床研究センター
鶴丸 雅子 先生

データの品質を保証するためのプロセス

岡山大学病院 新医療研究開発センター データサイエンス部 データマネジメント室
山本 満寿美 先生

